The Rotary Club of Suzuka Bay,District 2630,Japan,R.I.
鈴鹿ベイロータリークラブ
例会日　木曜日　18:30～19:30
例会場　鈴鹿サーキットホテル
事務局　〒510－0295　鈴鹿市稲生町7992
鈴鹿サーキットホテル
TEL 059(379)2484　FAX 059(379)2770

人類に
奉仕する
ロータリー

第１２５４回 例会報告（2017 年 4 月 13 日）
ポリオ撲滅活動報告
奉仕部門担当

■司　会 ／ 大泉博典ＳＡＡ　　**■ロータリーソング** ／　それでこそロータリー

■会長挨拶　／　平野泰治　会長

新しい年度が始まりました。昨年から、今年は時代の転換期になるのではとの話題でもちきりでしたが、新年度早々に、トランプ米大統領がシリアをミサイル攻撃しました。それだけでなく、北朝鮮とも緊張感を高める事態となっています。

よく日本人は忘れやすいと言われます。今回もあっという間に、森友問題も、南スーダン NPO 問題も、教育勅語も、ましてや安保法案や豊洲問題、東京オリンピックなどどこかへ吹き飛んでしまいました。こんな時に限り、私たちの生活にとって大切なことが知らない内に進んで行きます。例えば、介護保険法の改正です。以前に団塊の世代が後期高齢者になる２０２５年問題のお話をしましたが、その解決策の一つとして、介護サービスの種類が減らされたり、料金負担が増やされたりすることが始まりました。

今こそ私たちは、地に足を付け自ら考え、決断し、行動することが大切です。私の住む町でも、先日、新たな住民自治組織「夢ある稲生まちづくり協議会」が設立され、自分たちのまちづくりは、自分たちでやっていこうと行動を開始しました。

社会の役に立ちましょう。このロータリーの理念に基づく活動をしっかりと進めることが益々大切になってきました。お互いに力を合わせ頑張りましょう。

■幹事報告　／　川岸憲博　幹事

（１）鈴鹿シティロータリークラブより、４月１日（土）ロータリーデーの御礼、会計報告が届いています。ポリオ撲滅募金の当クラブへの配分金は７，４０５円です。ロータリー日本財団へポリオ・プラス寄付として送金致します。

（２）岐阜中山道ロータリークラブは６月３０日付けで、岐阜加納ロータリークラブと合併し、存続クラブ名は岐阜加納ロータリークラブになるとのご報告が届いています。

（３）玉川登美男　鈴鹿市教育長の退任のご挨拶と、平成２９年４月１日付けにて中道公子鈴鹿市教育長　就任のご挨拶が届いています。

（４）本日、例会終了後理事役員会を開催いたしますので、よろしくお願いします。

■出席報告

例　会　日	会　員　数	出　席　者	欠　席　者	出　席　率
4 月　13 日	12 名	12 名	0 名	100%

2 週間前の補正後出席率 12 名中　12 名　　100%

■ニコボックス

平野泰治……長岡さんありがとう。お疲れ様でした。
遠藤龍夫……長岡さんの卓話楽しみにしております。
宮崎弘夫……先週は失礼しました。楽しく海外の地区大会に参加させて頂きました。

■例会　／　関場慶博　チーム ポリオ参加旅行記　／　長岡 忠明

旅行期間　2017 年 1 月 27 日～2 月 1 日の 6 日間
リーダー　関場先生（弘前ＲＣ）　今年で(弘前ＲＣ）関場先生は１８回目の参加
参加人数　33 クラブ 44 名（先回 50 名)、ローターアクト＝3 名（先回は 9 名）
渡 航 先　インド・デリー（ニューデリー）
目　　的　インドでは平成２４年にＷＨＯ（世界保険機構）はインドでのポリオが撲滅されたと、発表しました。
今回は再度の検証と先回お世話になった方々との再会の為に参加しました。
活　動　・初日　27 日（金）朝 7 時半出発　パレードに参加
ロータリアン約 150 名　学生＝600 名
途中、歓迎レセプションが開催され多くのアトラクションで楽しみました。
夜には晩餐会が模様され、在インド日本国大使館 特命全権大使の平松賢司氏の卓話が有りました。日本との交流が蜜になっているとのこと。

・二日目　28(土）朝 7 時半出発
午前は東京麹町 RC の藤谷氏他３名と共にブースで投与活動をしました。午後は子供たちにおみやげの文具を与えながら路上での投与投与活動を行いました。

・三日目　29 日（日）朝 7 時出発
戸別訪問でワクチン投与活動を行いましたが、ほとんど投与が行き届いていましたせいか今年は 10 本ほどで終了しました。
残念なことは、昨年同様参会者の中で日本からの参加者だけが最前線で直接投与している。今回もほとんどの国の白人参加者は初日のパレードのみの参加で名所観光などに向かってしまいました。

感想　活動中は特に問題も無く、無事帰国できましたのはひとえに関場先生のご配慮の賜物と思っています。インドでのポリオ撲滅には地元の保健婦さんたちの地道な活動が最も必要であると感じました。保健師さん達は地域別、各戸毎のデータを取っていましたが、インドでスラムの中は戸籍がないとのことです。撲滅後もしばらくは投与活動が必要だと強く感じました。以上、活動報告いたします。